

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

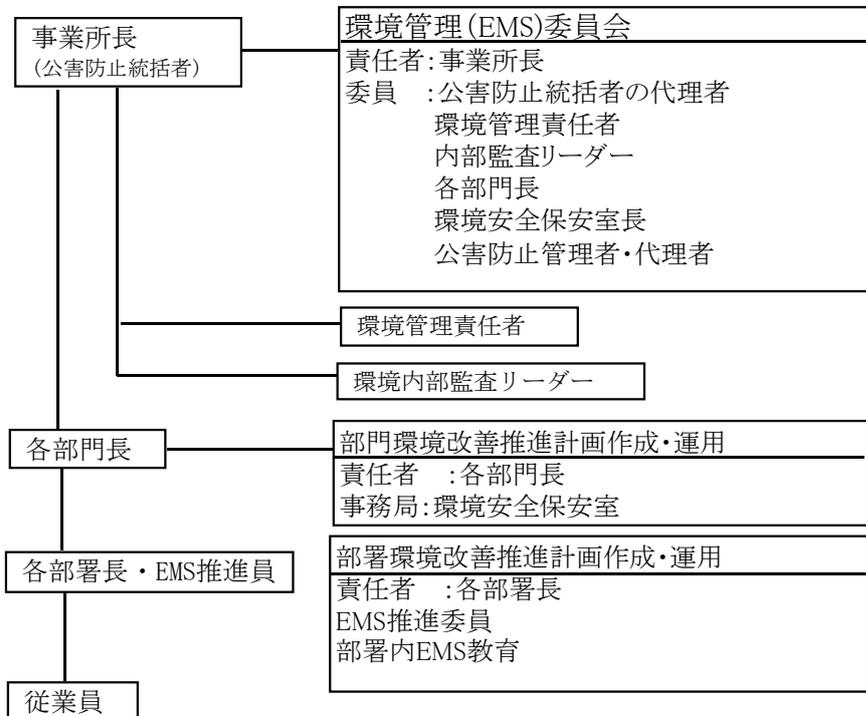
1-1 環境保全活動に関する方針

【添付資料 1】 のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

以下の組織体制で推進している



(注) EMSとは環境マネジメントシステムの略で環境管理を意味します。

## 【添付資料1】

# 旭硝子関西工場高砂事業所環境方針

### 基本方針

旭硝子関西工場は、AGCグループ環境基本方針に基づき、限りある資源・エネルギーを有効に使い、持続可能な社会づくりに貢献するために、環境汚染予防および環境負荷低減活動を積極的に推進します。

### 行動指針

1. 環境に関する各種法令・条例・協定等に基づく規制・基準を順守し、環境を阻害する要因の撲滅に努めます。
2. 環境パフォーマンス向上を含む環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 環境汚染の予防を推進します。  
環境リスクアセスメントを行い、環境リスクの低減を図り、環境事故を予防します。
4. 環境負荷低減に環境負荷低減に取り組み、環境保護に努めます。  
特に、省エネ・省資源、地球温暖化対策、廃棄物の削減・リサイクル促進および化学物質の適正な管理に関して目標を設定し、達成に努め、また向上を目指します。
5. 工場で働く全ての人に対してこの環境方針を周知し、一人ひとりがこれに基づき行動するよう、必要な教育や啓発を行います。
6. 利害関係者に対して工場環境方針を公表し、さらに環境管理の実施状況について、必要に応じて公表します。

2017年11月1日  
旭硝子株式会社関西工場  
工場長

## 別紙2

## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策(地球温暖化対策)	・2017年度工場CO <sub>2</sub> 排出量実績は、設備の休止もあり、初年度の計画に対して計画以上の減少を達成した。	・引き続き、工場全体の「照明、空調機器及び生産電力の削減」に注力。
廃棄物の対策	・2017年度排出量は、AGC・AGCC共に対前年比減少。 ・2017年度リサイクル率は、AGCは引き続き100%を維持、AGCCは対前年同様の96.1%であった。	・排出量削減として「有価物分別向上活動」を継続。
環境事故予防処置の対策	・環境リスクアセスメントの考え方を取り入れて、作業・施設等に係る環境事故予防処置の活動強化を行った。 10月に環境不適合撲滅キャンペーンを実施した。	・「重大リスク」を優先した予防対策の推進。 ・環境安全保安室が出前教育を実施。
化学物質の対策	・PRTR制度対象物質の見直しを行った。	・改正水濁法(2012/6)施行後の該当施設管理を継続。
ISO14001の運用管理	・2017年11月からISO14001の2015年度版を運用開始した。	・2018年5月の更新移行審査を受け認証を継続する予定。